

■保健委員会

委員長 L 中村喜隆

本年度保健委員長を指名いただきました。木之本ライオンズクラブの保健委員会での重要な事業としては、献血であると思われれます。そこで先日、6R7Rの献血委員長会議に出席させていただきました。そこで、県赤十字血液センターの方々に県内の献血の状況についていろんな話を聞くことができました。その中でもライオンズクラブの方々の協力にかかる献血者数は、昨年度でも県全体の献血者数の六十三・六%を占めていて、いかに献血におけるLCの協力が重要か理解できました。

今、日本は本格的な少子高齢社会に向かいつつあり、輸血用血液を多く必要とする高齢者の方々が増加し、その反面では将来の献血者基盤を担うべき若い方々が減少して、今後は輸血用の血液の不足がますます深刻になると予測されること事です。我滋賀県においても同じようにと考えられます。そこで当地区LC献血委員会とスローガン「献血は愛と奉仕の心の結晶」のもとに、当委員会を中心に各Lのメンバーの方々には、なお一層の献血の御協力をよろしくお願い申し上げます。なお、六十四才までは献血対象年齢であることですので、今一度メンバー各位の献血にも御協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

■社会福祉委員会

委員長 L 速水五郎

こんにちは。ライオンズクラブに入会させていただいて日も浅いのに、この度福祉委員長を命ぜられ、どんな事をしていけばよいか戸惑っております。さっそく木之本町の社会福祉事務所を訪ね、色々な御苦勞話をうかがいにいって来ました。その話の中で、病人をかかえておられる、介護者の方が一番心身に大変な思いをされておられます。

介護者には家族の方とりわけおばあさん、妻、若嫁さんが主で、休みもとれず日夜の介護で疲れ様です。交代していただける人も限られており、まだまだボランティアの介護者不足です。一日二日代わっていただけると、何もかもすべて忘れてグッスリ眠りたいとの事でした。下の始末をする時の手袋とか、おむつとか欲しい物だらけだそうです。

寝たきりとか痴呆症の方の介護者の必要な方は、木之本町で六十人、余呉町で三十人、高月町六十人、西浅井町四十人、合計百九十人おられます。介護者の方々に使います手袋百枚入りをお渡しする事にしました。ますます高齢化が進み福祉の仕事は増えるばかりです。ライオンズクラブ等の活躍に期待される事だと思ひます。

楽しかった一年間

幹事 L 山口 巖

成せば成る。成さねば成らぬ何事も。昔の人は何と良い言葉を残して下さったと、今さら感心している私です。忙しい、忙しい、と走り回っている私ですが、この一年間幹事の大役をいただき、どうにかなるだろうと気楽に考えてスタートはしたものの、正直言って何もわからない内に一年間は駆け足で過ぎてしまいました。いろいろな場所での会合への出席、他クラブへの訪問等今まで経験しなかった事に出会って、自分はライオンズクラブの一人として何をしているのか、又どうす

べきか、などと考える事も多々ありましたが、今木之本ライオンズクラブに一番大切な事、しなければならぬ事は、できるだけ若い会員を増強する事だと思ひます。メンバー各位にはできるだけ多くの方をご紹介下さいますようよろしくお願ひ致します。今年は今クラブより、田中達雄ライオンが地区リジョンチェアマンとして活躍されております。まことに忙しい毎日と聞いております。どうぞお身体ご自愛下さいますようお願い致します。又、昨年度は地区ライオネス副委員長として田中通夫ライオンに

伊香郡小中学校障害児学級一日バス旅行

教育委員会

副委員長 L 近藤 斉伸

木之本ライオンズクラブ主催の毎年の恒例行事であります郡内小中の障害児学級一日バス旅行を、去る十月二日に実施いたしました。

行き先は行程に無理のないよう、愛知県犬山市の「お菓子の城」「野外民族博物館リトルワールド」にしました。秋晴れの絶好の天気です。子どもたちは生き生き元気に楽しく参加してくれました。

参加者は小中障害者十八名、引率先生十四名、協力Lは会長はじめ五名で総数三十七名でした。車椅子の子ども、体の不自由な子ども、それぞれ障害を持ちながらも必死に参加しようとする姿勢と、あまりにも快活な動きに心を打たれました。「歩ける人は歩こうとしない、歩けない人は必死に歩こうとする」そのことをバス旅行に参加して、逆に障害者の皆さんから学びました。教育の場として、さすが担任の先生方の援助指導の仕方は違うなあと感じました。彼らの社会的自立を願って「付かず離れず」暖かいまなざしが随所に見られました。「お菓子の城」でのケーキ作りは本当に楽しそうでした。さまざまなる形を自分で選択し、思い思いのお菓子を焼く感動は大きな体験だったろうと思われ

は大変ご奮闘いただき、木之本ライオンズクラブここに有り、と知らしめていただき、さすが我がクラブの大先輩と感心しております。ほんとうに御苦勞さまでした。又我がクラブと海外のクラブとの交流会もできましたし、新しいメンバーさんも入会されました。会長ライオン竹中をはじめ各委員長ライオン、各メンバーライオン、楽天家の幹事をよく理解していただきました事、心より嬉しく思っています。又こんな楽しい一年間を与えて下さった事に心よりお礼を申し上げます。お陰様で無事次期幹事ライオン三國にバトンを受けていただきました。ご苦勞様ですが今年一年間よろしくお願ひ致します。最後になりましたが、名アシスタント内貴様に感謝、感謝。そして今年も、われらライオンズで…。

常日頃の想いを筆に…

最近思うこと

L 浅井悦郎

我が家の居間の一角にある机に座ると、眼前に山や田園の風景が一望できる。山の谷間を白い湯気がゆっくりと立ち昇っていく。いつもの朝の風景である。この地の山林に雨が降り、雪が降る。やがて、大地を流れて谷川から川になり、琵琶湖から太平洋へと流れる。

この水に「水利権」なるものが存在する。勝手に田にポンプで水を汲み上げると、違法になるらしい。誰が、いつ決めたのか、自然の営みにも権利があるらしい。

近頃、騒がれている瀬戸内海の豊島、岐阜県御嵩町のゴミ処理場や原子力発電所問題でも、厭なものは全て自分たちの身の回りから遠ざけ大都会から田舎へともってくる。外国には持ち出そうとはしないのに。

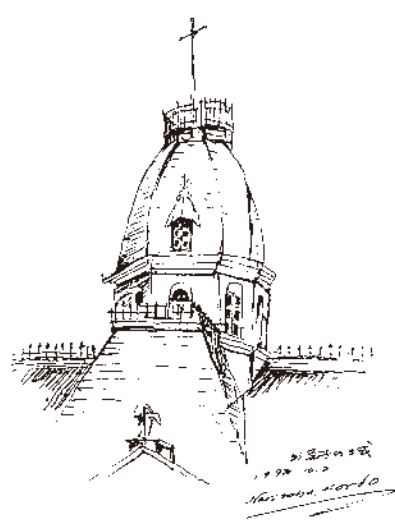
数の倫理か、強者の倫理か、何となく人類の寿命を縮めているように思う。

日本・亡国寸前

L 駒井 武司

新婚まもなく主人を兵隊にとられ、戦死。以降五十年、六十年、一人淋しく過ごした老婆は次の言葉をどう思うか聞いてみたことだろうか…。

援のかかり方を学ぶと共に、今後のライオンズ教育委員会部会のあり方の重要な視点を見つけたような気がいたしました。



アクトについて

L 中川 顕

私は、ライオンズクラブ活動の中で、YEとカレオの存在を疑問に思う者です。あまり内容をしつかり知らないで、ちがってはいればごめんなさい。よくご存知の方はお教え下さい。私